

令和6年能登半島地震 災害対策ニュース

みんなで石川の力になろう

富山県連からも多くの仲間が就労



「全国の仲間にも頑張ってもらいたい」と富山の仲間よりエール

輪島市の町野グラウンドゴルフ場仮設団地では、早い棟では、サッシの取り付け、軒裏の段取りなどまで作業が進みました。新たに建方に入っている棟もあります。石川の隣県の富山県からは、3月28日には28人と多くの仲間が就労しました。富山県連の土屋さん、松原さんのお二人にお話を伺いました。

○富山県高岡市の自宅から毎日現場へ通っている土屋さん

就労初日から現場に入っている土屋さん。毎日、富山県高岡市のご自宅を朝5時に出て石川県輪島市の現場まで通っています。土屋さんは「通いの人は始業9時30分だけど、天候のいい日には朝礼の8時に間に合う」「地元の祭りが近くあるため、獅子舞の練習が夜

ある。復興と地域での活動を両立させている」とのことです。

土屋さんは「監督さんも現場の人たちも応急仮設建設は初めての経験。これから来る人たちが分かるように、作業を効率よく進める努力をしている」「朝礼でも意見を出し合いながら、作業を進めている」とこれまでの就労を振り返りました。

「近県で起こったことだ。みんなで協力してやり抜こう」と話をされました。

○被災自治体の住宅相談の対応もされた松原さん

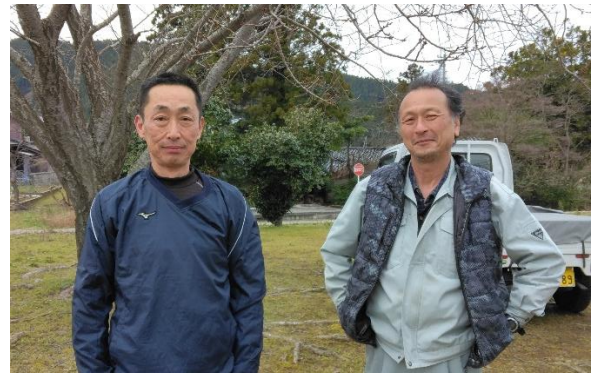
松原さんは輪島市の宿泊先から通っての参加。松原さんは「自分は県連の役をしているから、知っている人も多い。2月にあった富山県連の総会でも、富山のみんなで、石川の力になろうと決意し、参加している」と今回の活動の意義を話されました。

「途中で雪が降ったり、大雨にも遭った。それでもがんばってきた。今富山の仲間7人で一つのチームになり、被災者に住宅が提供できるよう、安全に配慮しながら、これからもやっていくよ」と強調。「これから全国から石川に応援に来ると聞いた。全国の人にも頑張ってもらいたい」とも話されました。

松原さんは富山県の射水（いみず）市内にお住まいです。富山県内でも住宅被害の大きかった氷見市、高岡市、射水市で自治体の開設していた、地域住民の住宅相談の窓口対応を、松原さんはされてきました。

松原さんは「自治体から依頼された5団体に富山県連が入っており、1月以降対応してきた」「地域の方が、この状態で住めるのか。どのような修理が必要か。相談に来る。場合によっては、被災者の住宅まで見に行った」とこれまでの活動を説明。

相談された方から「建築組合の方は、プロだからよくわかっている」

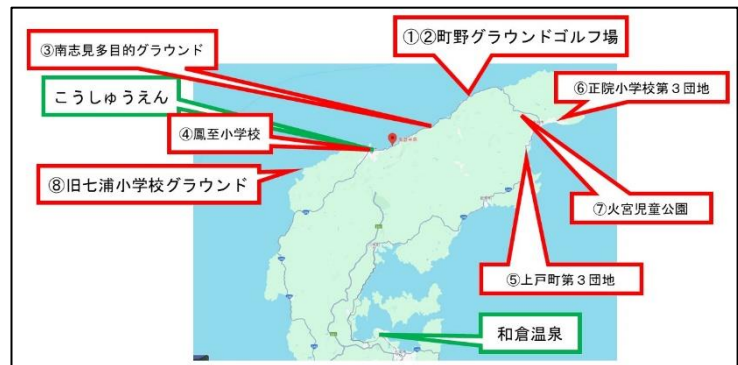


今回就労にあたってのお話を伺った
土屋さん(左)と松原さん(右)



新たに建方作業に移るチームも

「相談できて、安心した」「納得した」と感謝されたことから、松原さんは「組合活動してきてよかった」と1月以降の活動を話されました。（現地事務局記）



2024年3月28日現在				
団地名	戸数	みんなの家等	サポートセンター	大工工事開始
①町野グラウンドゴルフ場1	70	1		4月8日
②町野グラウンドゴルフ場2	198	2	1	3月18日
③南志見多目的グラウンド	100	1		3月18日
④鳳至小学校	107	1	1	4月1日
⑤上戸町第3団地	9			4月15日
⑥正院小学校第3団地	19			4月15日
⑦火宮児童公園	4			4月15日
⑧旧七浦小学校グラウンド	44	1		4月15日
合計(8現場)	551	6	2	-